

【散剤の調剤】

1. 調剤上、以下のように取り決めている。(参照:表2)

A. 単独指定

薬品ごとに薬袋を作成する。(1薬品につき1薬袋)

B. ヒート指定

ヒート包装は開封しない。

C. 別調剤指定

秤量する場合、他の薬品と混合せず単独で秤量する。

D. 説明書等を添付する。

E. その他

必要な注意事項を記載する。

2. 製品予包品及び院内予包品(以下、予包品)を使用し、規格に合致しなければ秤量する。

3. 同一 Rp 内に複数の秤量する散剤がある場合、配合変化がなければ一包化し、1回1包に分包する。ただし、別調剤指定の薬品は除く。

分包する場合の1包の最大量は9gとする。1包9g以下であっても対応できない場合は薬品個々に決める。

例 D-ソルビトールは1包5g未満とする。

4. 同一 Rp 内に予包品で調剤できる散剤が2種類以上ある場合、1回服用包数が同数の薬品は同一薬袋に入れる。1回服用包数の上限は設定しない。

5. 服用指示が不均等(1回の服用量が異なる)の場合

例 散剤A(1g 予包品あり) 4g (2-1-1)

分3毎食後 14日分

→薬袋1枚作成(朝2包、昼1包、夕1包の表示)

例 散剤B(1g 予包品あり) 2.5g (1-0.5-1)

分3毎食後 14日分
→薬袋3枚作成(各々朝1包, 昼1包, 夕1包の表示)
すべて散剤監査システムにまわるが予包品で調剤できるものは、秤量せず
散剤秤量者が予包品を調剤する。

例 散剤C(予包品なし) 4g(1-1-2)
分3毎食後 14日分
→薬袋3枚作成(各々朝1包, 昼1包, 夕1包の表示)
すべて秤量する。

6. 錠剤・カプセル剤に粉碎指示がある場合
粉碎が可能な場合は粉碎して交付する。

薬品の特性により粉碎ができないが、カプセルの開封のみ可能な場合は、薬袋に「その都度カプセルをはずして1回〇カプセルお飲み下さい」の指示をして交付する。

錠剤・カプセル剤を粉碎した場合、当該薬品のヒートシールの薬品名が記載された部分を散剤指示せんに貼付する。

7. 抗悪性腫瘍剤及び免疫抑制剤・糖尿病用剤等を粉碎した場合はパイルパッカーを用いて分包する。

8. エレンタールが処方されている場合
交付総量が56袋以上になる場合は「エレンタール交付票」に必要事項を記入し、調剤者欄に押印し、処方せんに添付する。

9. 賦形について

① 賦形剤は通常、乳糖(粒状)を使用する。
例外 以下の薬品については賦形剤としてデンプンを使用する。
イスコチン錠を粉碎した場合
ネオフィリン錠を粉碎した場合
ピラマイド

② 賦形剤の添加量は以下の通りとする。

顆粒剤

賦形しない。なお、リボトリール細粒は顆粒扱いとする。

散剤(粉末・細粒・錠剤やカプセル剤を粉碎したもの)

用法 分1～

1歳未満→賦形剤なし

1歳以上～6歳未満→1日分合計が0.2g未満の場合、賦形剤を0.2g添加

6歳以上→1日分合計が0.5g未満の場合、賦形剤を0.5g添加

頓用

1歳未満→賦形剤なし

1歳以上～6歳未満→1回分合計が0.2g未満の場合、賦形剤を0.2g添加

6歳以上→1回分合計が0.5g未満の場合、賦形剤を0.5g添加

③ 1回服用量が不規則の場合

賦形する必要があるものにのみ、賦形剤を上記に従って添加する。

④ 顆粒剤と散剤(粉末・細粒・錠剤やカプセル剤を粉碎したもの)の組み合わせの場合

散剤(粉末・細粒・錠剤やカプセル剤を粉碎したもの)に賦形が必要な場合は賦形剤を添加する。その後、顆粒剤とは混合せず重ねまきで分包する。

⑤ 錠剤・カプセル剤を粉碎したとき、必要な場合は賦形剤を添加する。

散剤指示せんにその旨を記入する。

⑥ メスチノン錠を粉碎した場合は分包時に静電気を発生し、分包が不均一になるため、必ず賦形する。

⑦ ドライシロップ、抗生物質製剤等は賦形しない。

散剤配合変化表

同一処方内にある場合、薬品Aを別にする。

薬品名A	配合不可薬品名			
アスピリン	重曹 つくしAM散			
アスコルビン酸	カマ コランチル 重曹 つくしAM散			
アドナ散	カマ コランチル 重曹 つくしAM散			
アプレゾリン散	アルダクトンA細粒 重曹 タチオン散 デパス細粒			
ジゴシン散 (ジギトキシン錠粉碎)	カマ コランチル 重曹 つくしAM散			
シナール顆粒	カマ コランチル 重曹 つくしAM散			
タチオン散	アプレゾリン散 重曹 つくしAM散			
デパス細粒	アプレゾリン散			
ナパ	次硝酸ビスマス			
パンビタン	カマ 重曹 つくしAM散			
ホリゾン散	カマ パンクレアチン			

表2 (散剤)

薬品名	単独 指定	ヒート 指定	別調剤 指定	説明書 等 添付	その他
抗悪性腫瘍剤	○				
抗生素質	○				
抗菌剤	○				
抗ウイルス剤	○				
ドライシロップ	○				注意事項として「1回分ずつ 適量の水に混ぜてお飲み下さい」
経口・経腸栄養剤	○				
漢方エキス製剤	○				
糖尿病用剤を粉碎した場合	○				分包紙に紫色の線を引く
免疫抑制剤を粉碎した場合	○				
メスチノン錠を粉碎した場合	○				必ず賦形用乳糖を添加
アルギ U 顆粒 (限)	○				
アルファロール散	○				
アローゼン			○		
インタール細粒 10%	○	○			
ウラリット U			○		
SG 顆粒		○			
SM 散		○			
エビリファイ散	○				
エピレオプチマル散 (限)	○				
オーグメンチン小児用顆粒	○	○			
ガストローム顆粒			○		
ガランターゼ散	○			○*	* 年齢 1歳未満の場合のみ説明書

カリメート	○			○	
キプレス細粒		○		○	
強力アデロキシン末（限）	○				
クエストラン（限）	○			○	
クレスチン	○	○		○	
クレメジン細粒	○	○		○	
コロネル細粒	○				注意事項として「必ずコップ一杯以上の水でお飲み下さい」
酸化マグネシウム			○		
臭化ナトリウム	○				
セフゾン小児用細粒	○			○*	*年齢1歳未満の場合のみ説明書
セレニカR顆粒	○			○	
ソリタT顆粒3号	○	○			
D-ソルビトール	○				
ダイオウ末			○		
タナドーパ顆粒			○		
タミフルDS	○			○	注意事項として「1回分ずつ適量の水に混ぜてお飲み下さい」
つくし・AM散		○			
テオドールDS	○			○	注意事項として「1回分ずつ適量の水に混ぜてお飲み下さい」
テオドールG	○				
経口用トロンビン細粒	○	○		○	
ネオメルク細粒（限）	○				
バルコーゼ顆粒	○				注意事項として「必ずコップ一杯以上の水でお飲み下さい」
ビオラクチス散	○				注意事項として「冷蔵庫に保管して下さい」
プログラフ顆粒	○	○			

ペラゾリン細粒	○	○			
ポルトラック	○	○		○	
ミルラクト細粒	○			○*	*年齢1歳未満の場合のみ説明書
メサフィリン末		○	○		
ユーエフティE顆粒	○	○			
ヨクイニンエキス散	○				
ラクツロース末・P	○	○		○	
リーバクト顆粒	○	○			
ワーファリン散			○		
ワッサーV顆粒			○		